

平成28年度からの理学部における研究奨励AO入試について

平成26年 1月
大 阪 大 学

平成28年度入学者選抜から、理学部研究奨励AO入試の内容を、次のとおり変更します。
なお、理学部研究奨励AO入試における平成27年度以降の大学入試センター試験への対応は、別途発表する予定です。

1. 出願要件

理学部研究奨励AO入試の出願要件を、次のとおり変更します。

なお、出願要件の発表会等について、主催者による実施方法の変更があった場合、それに伴い出願要件を変更することがあります。その場合は、別途発表します。

理学部研究奨励AO入試の出願資格は、変更ありません。

○平成27年度入学者選抜まで

次の①及び②の要件をすべて満たす者としてします。

- ①高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当する者（予定の者を含む）。但し、出願した年度を含め過去3年間の出場あるいは出場予定に限ります。
 - ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、出場者となった者
 - ・日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者および最終審査会進出者となった者（予定の者を含む）
 - ・ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む）
- ②出願した年度に実施される大学入試センター試験で、志望する学科（コース）が指定する教科・科目を受験する者



○平成28年度入学者選抜から

次の①及び②の要件をすべて満たす者としてします。

- ①高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当する者（予定の者を含む）。但し、出願した年度を含め過去3年間の出場あるいは出場予定に限ります。
 - A. 理学部の全ての学科・コース志願者共通
 - ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、出場者となった者
 - ・日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者および最終審査会進出者となった者（予定の者を含む）
 - ・ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む）
 - B. 理学部物理学科の志願者は、Aに加え次に該当する者も対象とします。
 - ・日本物理学会 Jr. セッションで発表者となった者（予定の者を含む）
 - ・日本天文学会ジュニアセッションで発表者となった者（予定の者を含む）
 - C. 理学部生物科学科生物科学コース及び生命理学コースの志願者は、Aに加え次に該当する者も対象とします。
 - ・日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者となった者（予定の者を含む）
- ②出願した年度に実施される大学入試センター試験で、志望する学科（コース）が指定する教科・科目を受験する者

2. 第2次選抜（口頭試問）

○平成27年度入学者選抜まで

第1次選抜合格者に対し、口頭試問（研究成果のプレゼンテーションを含む）を行い、第2次選抜合格者を決定します。グループ研究の場合は、志願者個人の寄与についても評価の対象とします。第2次選抜は個人ごとに行い、1人30分程度（目安としては、10分間プレゼンテーション、20分間質疑応答）とします。



○平成28年度入学者選抜から

第1次選抜合格者に対し、口頭試問（研究成果のプレゼンテーションを含む）を行い、第2次選抜合格者を決定します。グループ研究の場合は、志願者個人の寄与についても評価の対象とします。第2次選抜は個人ごとに行い、1人30分～1時間程度（目安としては、10分間プレゼンテーション、その後に質疑応答）とします。なお、所要時間は学科により異なります。